

J E N E S Y S 2 . 0**韓国青年訪問団****訪問日程 平成 27 年 7 月 28 日 (火) ~ 8 月 6 日 (木)****1. プログラム概要**

「JENESYS2.0」の一環として、在大韓民国日本国大使館で選抜、派遣された韓国青年訪日研修団計 69 名が、7 月 28 日から 8 月 6 日までの 9 泊 10 日の日程でプログラムを行いました。

第 1 団 (34 名) 団長：魯解斗 (ノ・ヘドゥ) 文井女子高等学校日本語教師

訪問地：東京都、千葉県、奈良県、大阪府、京都府

第 2 団 (35 名) 団長 李東昌 (イ・ドンチャン) 完州高等学校日本語教師

訪問地：東京都、千葉県、奈良県、大阪府、京都府

「日本を感じる」というテーマの下、滞在中、東京都内、千葉県、奈良県、大阪府、京都府で学校訪問や文化遺産見学を行ったほか、ホームステイや文化体験を通して、日本への理解を深めていました。

2. 日程**7/28(火)**

到着(羽田国際空港)

7/29(水)

講義、江戸東京博物館見学、歓迎昼食会、浅草見学、国立新美術館見学

7/30(木)

池袋防災館、日本科学未来館見学、東京タワー

7/31(金)

千葉市立郷土博物館

高校訪問(1 団: 植草学園大学附属高校訪問、2 団: 千葉県立長生高校訪問)

8/1(土)

奈良県へ移動、奈良県立万葉文化館見学、「あすか歴史体験隊」との交流プログラム、地方の魅力に関する講義、ホームステイ対面式

8/2(日)

終日ホームステイ

8/3(月)

ホームステイから再集合・離村式、文化体験(和紙体験)

8/4(火)

大阪へ移動、パナソニックセンター大阪見学、大阪企業家ミュージアム見学、大阪市内水上バス遊覧

8/5(水)

金閣寺見学、文化体験(豆腐作り、浴衣着付け体験)成果報告会

8/6(木)

帰国(関西国際空港)

3. 写真

| | |
|---|--|
|  |  |
| (日本語) 7月29日 特別講義「日本庶民文化の伝統」(墨田区) | (日本語) 7月30日池袋防災館(豊島区) |
| (母国語) 7월 20일 특별강의「일본 서민(庶民)문화의 전통」(스미다구) | (母国語) 7월 30일 이케부쿠로 방재관(도시마구) |
|  |  |
| (日本語) 7月30日日本科学未来館(江東区) | (日本語) 7月31日千葉県立郷土博物館(千葉県千葉市) |
| (母国語) 7월 30일 일본과학미래관(고우토우구) | (母国語) 7월 31일 치바시립향토박물관(치바현치바시) |
|  |  |
| (日本語) 7月31日植草学園(千葉県千葉市) | (日本語) 7月31日植草学園(千葉県千葉市) |
| (母国語) 7월 31일 우에쿠사가쿠엔(치바현치바시) | (母国語) 7월 31일우에쿠사가쿠엔(치바현치바시) |



(日本語) 7月31日植草学園(千葉県千葉市)

(母国語) 7월 31일 우에쿠사가쿠엔(치바현 치바시)



(日本語) 7月31日植草学園(千葉県千葉市)

(母国語) 7월 31일 우에쿠사가쿠엔(치바현 치바시)



(日本語) 7月31日千葉県立長生高校の歓迎会(千葉県茂原市)

(母国語) 7월 31일 치바현립초세이고등학교 환영회(치바현모바라시)



(日本語) 7月31日千葉県立長生高校訪問(千葉県茂原市)

(母国語) 7월 31일 치바현립초세이고등학교(치바현모바라시)



(日本語) 7月31日千葉県立長生高校訪問(千葉県茂原市)

(母国語) 7월 31일 치바현립초세이고등학교(치바현모바라시)



(日本語) 7月31日千葉県立長生高校訪問 韓国についての発表(千葉県茂原市)

(母国語) 7월 31일 치바현립초세이고등학교 한국에 대한 발표(치바현모바라시)



(日本語) 8月1日村長による明日香村の魅力についての講義 (奈良県高市郡)

(母国語) 8월 1일 촌장님에 의한 아스카무라 매력에 관한 강의(나라현 다카이치군)



(日本語) 8月1日あすか歴史探検隊との交流プログラム① (奈良県高市郡)

(母国語) 8월 1일 아스카역사탐험대와외의 교류프로그램①(나라현 다카이치군)



(日本語) 8月1日あすか歴史探検隊との交流プログラム② (奈良県高市郡)

(母国語) 8월 1일 아스카역사탐험대와외의 교류프로그램②(나라현 다카이치군)



(日本語) 8月1日ホームステイ対面式 (奈良県高市郡)

(母国語) 8월 1일 홈스테이대면식(나라현 다카이치군)



(日本語) 8月3日離村式①お礼に合唱を披露する (奈良県高市郡)

(母国語) 8월 3일이촌식①답례로 합창을 피로(나라현 다카이치군)



(日本語) 8月3日離村式②ホストファミリーからの書道「心」披露 (奈良県高市郡)

(母国語) 8월 3일이촌식②호스트패밀리가 서예「心(마음)」을 피로(나라현 다카이치군)



(日本語) 8月3日和紙体験(奈良県吉野郡)

(母国語) 8월 3일 화지체험(나라현 요시노군)



(日本語) 8月4日パナソニックセンター大阪(大阪府大阪市)

(母国語) 8월 4일 파나소닉 오사카(오사카부오사카시)



(日本語) 8月4日たこ焼き体験(大阪府大阪市)

(母国語) 8월 4일 다코야키체험(오사카부오사카시)



(日本語) 8月5日豆腐作り(京都府京都市)

(母国語) 8월 5일 두부만들기(교토부교토시)



(日本語) 8月5日浴衣体験①(京都府京都市)

(母国語) 8월 5일 유카타체험①(교토부교토시)



(日本語) 8月5日浴衣体験②(京都府京都市)

(母国語) 8월 5일 유카타체험②(교토부교토시)

4. 参加者の感想

◆印象的だったこと

○ホームステイに関して

- ・日本人は本音と建前を使い分けるあまり良くないイメージだったが、優しくいろいろと面倒を見てくれたホストファミリーのおかげでその考えが変わった。
- ・ホームステイのおかげで第二の故郷ができた。
- ・都市では情が廃れているというが、田舎ではそうでないことが分かった。ホームステイ先のおばあちゃんの笑顔が今も忘れられない。
- ・少しでも色々見せようと、準備万端だったことに驚き、情熱がすばらしいと感じた。
- ・日本人と言えば、個人主義という認識があったが、今回のホームステイを通して今までの自分の認識が大きく変わった。他の国のことを知ろうと思ったらホームステイが一番である。
- ・ホームステイ先では、食事の準備、花火、すいか割りなどを一緒にし、多くの体験をさせてくれた。別れる時に涙を堪えるのがつらかったが、受験が終わったらまた訪問するつもりだ。

○学校訪問に関して

- ・日本の学生達にあまり良いイメージがなく自分たちを歓迎してくれるとは思っていなかったが、まったく逆で、歓迎してくれたので嬉しかった。
- ・夏休みにも関わらずいろいろ準備してくれたことを知り嬉しかった。不安定な日韓関係の中で人との関わりがどれだけ大切かということを学んだ。
- ・同世代の日本人の友達ができ、また外国語の必要性を再認識するなど、自分の内面を成長させてくれる良い機会だった。
- ・一番衝撃を受けたのは学校だ。きれいに整頓された学校の様子、日本らしい雰囲気、部活動など。弓道部、野球部、書道部、華道部などの部活動に驚いた。韓国と違い多様な部活をかなり高い水準で行っていた。潤った楽しい学校生活とは何か考えるようになった。

○伝統、文化、自然に関して

- ・企業家ミュージアム訪問で、近代日本の発展のための礎を築いた人物たちの努力と献身さがとても印象的だった。
- ・京都訪問を通じて、伝統を守り自然資源を活用しているのをみて、歴史や文化を大切に思う部分を学んだ。
- ・日本の伝統的な建物は韓国とは違う趣があった。
- ・韓国にもお祭りはあるが、村単位で沢山の人が集まって楽しむ祭りは初めてだったので見るだけで楽しかった。皆で花火を見たのが一生忘れられない思い出になった。
- ・江戸東京博物館を訪問する前にレクチャーを受けた。今まで日本が西洋の文化に影響を受けていたと思っていたが、反対に江戸時代の庶民文化の浮世絵が西洋の有名な画家に影響を与えていたと聞き日本の文化により関心を抱くようになった。
- ・吉野山の300年の歴史を持つ旅館に泊まり、周りのお店も200年の歴史を持ち、昔の先祖の建物や家屋が残っていることが羨ましかった。
- ・史跡を訪ねたりして、韓国と日本が昔から緊密な関係にあったことを改めて感じ、これからも切

っても切れない関係だろうと思った。

○人間性について

- ・初めて会うのに温かく迎えてくれた明日香村の方々が本当に素敵だった。
- ・一番印象に残っているのは日本人の「国民性」だ。国民のひとりひとりがとても優しく控えめでありながら、配慮がすごかった。韓国では日本に行ったことがないのに、悪くいう人をたくさん見たが、ネットで調べて分かったような気になった人は井の中の蛙で、そういう人達に偏見なしに実際の日本を見てもらいたい。
- ・日本人はみな親切で、小さなことにも感謝の気持ちを表し、他人に迷惑をかけないようにする。その中で過ごして自分もだんだん変わっていくのを感じた。
- ・日本人の国民性は個性だと思っていたが、人格教育の水準のようだ。車を追い越すと窓を開けてどなったり、ゴミを捨てたりするのは韓国人の国民性だとあきらめずに、日本を手本にしないといけないと思った。経済難で円安だという日本は安定しているように見え、基盤がしっかりしている国という印象を受けた。

○その他

- ・防災館でいろいろな自然災害について学んだが、地震体験が一番衝撃を受け印象深かった。その衝撃は今も残っているし、それと同時に自分が今日本にいることを改めて実感させられた。
- ・日本に対する偏見が消えた。虚飾でない礼儀であると考えられるようになる良い訪問だった。

◆自国の人に伝えたいこと

- ・学生達に日本経済の底力と伝統文化について伝え、共に繁栄できるように努力する。
- ・日本人は個人主義だと思っているが、とても親切で思いやりのある人達だということを教えてあげたい。
- ・日本の文化は個性があり、多彩であることを伝えたい。
- ・日本の自然災害と防災意識について、そして今の日本の現状を伝えたい。
- ・日本人の国民性の高さを伝えたい。
- ・国民のひとりひとりが今の日本を作ったと思う。その点を帰国したら人々に伝えたい。日本の清潔な街も印象的だった。「さすが日本！！」という言葉が自然と出た。
- ・「世界では日本を無視するのは韓国だけだ」というが、国民性やほかの面で全てにおいて遅れている韓国が日本に負けたという怒りからそんなことをいうのは無駄なプライドだと思う。韓国に帰ったら友達に見たままを伝えたい。日本に対する考えが変わればいつか韓国が日本より進んだ国になるだろう。
- ・学校に戻ったら、友達に日本の高校で体験した文化体験（書道、華道）を伝え、家族にはステイ先の温かい家族について伝えたい。
- ・「秩序があって、純粋な人がいる国」と伝えたい。
- ・自分が考えていたより良い国で、学ぶ点が多いと伝えたい。
- ・日本は綺麗で国を思って節電をする良い国民で防災の準備のため努力していると伝える。